

10月29日(土) 荒川総合スポーツセンターに於いて、東京交通少年団第六方面統一行事が行われました。この行事は隔年で開催しており、今年も荒川警察署が当番として、荒川区・台東区・足立区の警察署、合計11署の合同で行いました。団長や署長の挨拶後には、日本一お金持ちゲームや交通安全〇×クイズを行いました。団員として知っておいてほしい知識を楽しみながら学ぶことができたと思います。今後の活動に役立ててほしいと願いながら、楽しい1日を過ごしました。

荒川交通少年団 荒川地区交通少年団  
隊長 安部 義治



大勢の仲間と盛り上がりました

# 「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動  
シンボルマーク

今号では、第8回を迎えた「あらかわの心」カルタ大会の様子や、小学校でのあいさつ活動、参加団体の活動報告についてお届けします。



あらかみ ©荒川区2019M128-0033  
あらかわ ©荒川区2019M128-0033

第22号

平成29年  
3月6日発行

平成29年2月4日(土)、町屋ふれあい館において「あらかわの心」カルタ大会を開催しました。

今年で8回目を迎えたカルタ大会は、「あらかわの心」推進運動区民委員会が作成したカルタを使った競技会です。当日は、未就学児の部、小学校低学年(1から3年生)の部、小学校高学年(4から6年生)の部に分かれ、76名の参加者がメダル獲得を目指して熱い戦いを繰り広げました。

競技会には、家族や友達も応援にかけつけ、大いに盛り上がりました。

開催を楽しみにしてくれているリピーターも増え、競技会に向けて練習を積んできたという参加者も多く、年々大会のレベルが上がってきています。

各部門1〜8位までの上位入賞者には、メダルが授与されました。また、通算2回目の優勝者には特別賞(1名)、通算6回目の出場者には「あらかわの心」賞(3名)として記念品が

## 第8回「あらかわの心」カルタ大会

授与されました。

カルタ大会へ参加することで、子どもたちは「あらかわの心」とは何かを深く知ることができ、これからも、カルタ大会を通して「あらかわの心」推進運動の輪が広がるよう、普及・啓発活動を行っていきたく思います。

各部の優勝者及び各賞の受賞者は以下の皆さんです。



- 優勝**
- ・未就学児の部  
野口小春さん(黒川幼稚園)
  - ・小学校低学年の部  
高谷里沙さん(尾久西小)
  - ・小学校高学年の部  
鶴見葉月さん(九畝小)
- 特別賞**
- 高谷里沙さん(尾久西小)
  - 上田裕太くん(根岸小)
  - 近藤悠登くん(根岸小)
  - 高橋佑奈さん(五畝小)



## ボーイスカウト秋の活動紹介

- ◆地域社会との繋がり
  - ①九峡小で開催された防災訓練へ参加し、防災クイズ・簡易テント組立・災害時給食のカレー作りを実施しました。
  - ②五峡小子供祭りへ参加し、聴覚・触覚・視覚の記憶ゲーム等を楽しみました。
  - ③南千住「なかよしまつり」へ奉仕及び参加をし、地区の皆様と一体となり活動しました。
  - ④峡田小で開催された「ドンとやろう大会」へ奉仕及び参加をし、手づくり・遊び・模擬店の各コーナーが出版された他、集団ゲーム等を楽しみました。
  - ◆秋の一日を団行事として、国営武蔵丘陵森林公園で落ち葉の絨毯を踏みしめながら、ピーバー(小学校一・二年)
- から大学生のスカウト達が、ドンダリ拾い・芝生滑り・野鳥観察等、年代に応じた活動を行いました。
- ◆RS(大学生年代)100kmハイクに東京からスカウト400名強が参加しました。荒川区からは、1名参加しましたが、体調を崩し60キロ地点で無念の涙、再度挑戦を誓いました。
- ◆素戔雄神社でかがり火を焚く庭燎奉仕と新年の国旗掲揚を行い、初詣の皆様を迎えました。
- ◆このように、ボーイスカウトは楽しい活動環境を提供します!

荒川区ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会  
荒川第1団団委員長 花島 克夫

平成28年度荒小P連OB会  
11月22日(火)、サンパール荒川にて平成二十八年度荒川区立小学校PTA連合会OB会総会を開催いたしました。

OB会会長及び荒川区長よりご挨拶をいただいた後、事業報告、決算報告、監査報告に続き、事業計画案、予算案が承認されました。

第二部では、講師として寺本建雄氏をお迎えして、「書いてもおもしろくないけど聞くとおもしろい話」「荒川と演奏」の講演を行っていただきました。その後の講師を交えての懇親会では、現役の頃の話に花が咲き、大変有意義な時間となりました。



講師の寺本先生



懇親会の様子

ました。OB達の絆がより一層深まり、楽しいひとときを過ごすことができました。

荒川区立小学校PTA連合会OB会  
会計 上原 民江

## 大人の変われば子供も変わる こころの東京革命

こころの東京革命とは、親と大人が責任を持ち、次世代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、自らが手本となりながら、人が生きていくうえで当然の心得を伝えていく取り組みです。

東京都が推進する「こころの東京革命」を、荒川区独自の視点で捉え展開しているのが、「あらかわの心」推進運動です。

第22号 平成29年3月6日発行  
発行 「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局  
〒116-8501 荒川区荒川12-2-3 (荒川区子育て支援部児童青少年課内)  
TEL.03-3802-3111(内線3833) FAX.03-3802-0809  
(Eメール) arakoko@city.arakawa.tokyo.jp  
(ホームページ) http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku\_seishonen/suishinundo/index.html

# わくわくまちあるき たんけん隊

9月11日(日)「わくわくまちあるきたんけん隊」が行われました。朝から降っていた雨が弱まる中、計74名の児童が元気に楽しく参加しました。

この活動では、南千住第二中学校のボランティアの生徒たちが、回向院や素盞雄神社、円通寺など七か所を、歴史を分かりやすく説明してくれました。

私たちが住む南千住は、とても貴重な史跡がたくさんあります。この活動を通じて、地域の小学生に



中学生の説明に耳を傾ける児童

一つでも多くのことを知り、自分たちの住む町をもっと好きになり、誇りを持ってもらえたら嬉しいです。これからも、子どもたちがわくわくするような企画を考えていきたいと思います。

荒川区青少年育成南千住地区委員会  
育成部長 和田美奈子

# 「中学生の主張発表会」



受賞者の中学生と記念撮影

第1回「中学生の主張発表会」開催された昭和58年当時は、教育現場が難しい時代でした。

青少年育成尾久地区委員会は、青少年の「自立心」を向上させ、社会に必要な生活習慣を身につけてもらう「夢と希望」をつかませ、地域の方にも中学生の本当の姿を理解して

頂く「場」とするため、この会を開催しました。

10月22日(土) アクト21に於いて、第34回「中学生の主張発表会」が開催されました。原、第七、第九、第九中夜間部、尾久八幡の各中学校生徒9人による素晴らしい発表がありました。発表者の声が私たちの心に響き、その共感が波動となり、終了したときは温かい気持ちとなりました。そして、将来を託せる「若竹」になると心より思いました。

この発表会を今後も続けていくことが尾久地区委員会の役割と自覚し、温かく中学生を励ましていきたいと思えます。

荒川区青少年育成尾久地区委員会  
広報部長 小澤清

# 「あいさつは魔法の力」

「あいさつは魔法の力」(※)という歌をご存知ですか？私の大好きな歌の一つです。

尾久第六小学校でも、朝は、教職員や三年生以上の児童が順番で門に立ち、登校班で登校するみんなを元気なあいさつで迎えています。

また、毎学期当初一週間ずつ、レインボー子ども会の方たちも一緒に朝のあいさつ運動に参加してください。地域のボランティアの方も交差点に立って、子どもたちの登校の様子を見守ってください。

元気なあいさつで一日がスタートできる、そんな素敵な尾久第六小学校。「一人一人の力がみんなを変えられる」ように、これからもあいさつがしっかりとできる子どもたちを地域一体となり育てていきたいです。



今日も元気に「おはようございます！」

荒川区立尾久第六小学校

副校長 大野良子

※この東京革命と東京都及び東京都教育委員会が取り組んでいる「あいさつ運動」をより一層広めるためのオリジナルソング

# ににちレンジャー あいさつ隊 とともに

第二日暮里小学校では、毎朝「ににちレンジャー」のたすきをかけた一〜六年生の子どもたちが「あいさつ隊」として正門前に立ち、登校してくる子どもたちや通勤中の町の人へ元気にあいさつをしています。

週に三日、あいさつ隊の子どもたちとともに、あいさつをしてくださる方がいらっやいます。二日小学校評議員の石井秀幸さんです。

石井さんは、子どもたちの健全な成長にも気を配ってくださいています。10月に行われたPTA地区別講演会(日暮里地区)では、子育て中の保護者の方を対象に、「子育てに必要なもの」という演題で講演をしていただきました。

その中で、早寝早起きの重要性についてお話をしてくださいました。

これからも、早寝早起きをして学校に駆けつけた子どもたちと石井さんの「おはようございます」の声が響く第二日暮里小学校であり続けてほしいと願っています。



石井さんと二日小児童であいさつ活動中

荒川区立第二日暮里小学校

副校長 扇元結加

# サンタが尾久にやってきた! みんなでメリークリスマス!



サンタの登場で大盛り上がり!

12月18日(日)に、尾久消防少年団のクリスマス会を実施しました。この会はレクリエーションやビンゴ大会など、一年の終わりに楽しく少年団活動を行うという目的の行事で、団員が毎年楽しみにしています。第二部の始まりでは、「メリークリスマス！」とクラッカーを鳴らすと、会場にサンタとトナカイがクリスマスソングのBGMとともにサプライズで登場し、団員にプレゼントを配ってくれました。これには団員も大喜びし、一気にクリスマス気分が盛り上がりました。

昨年は親子救命講習や防災体験学習施設の見学、野外活動等、消防少年団としてたくさんさんの貴重な体験をしました。今年も元気に多くの活動ができることを願っています。

尾久消防少年団 団長 西川千恵子



# 奥多摩キャンプ



荒川と奥多摩の子どもたち

私は九月に荒川区少年団体指導者連絡会が主催する奥多摩キャンプに行きました。キャンプでは、荒川と奥多摩の子どもが同じ班になり泊二日活動しました。一日目は魚つかみやガイドウォークを行い、荒川ではできないような体験がたくさんできました。夜に行ったナイトハイクでは、動物の鳴く声が聞こえてきたりしました。ナイトハイクの後は、奥多摩の子と色々な話をしながら楽しい時間を過ごし、「あらかわの心」カルタで対戦しながら一層交流を深めることができました。

二日目は最後にさよなら会を行い、プレゼント交換をしました。荒川区からは一日目に行った「あらかわの心」カルタをプレゼントしました。この二日間、奥多摩の自然を通して日頃ではできない体験をすることができ、とても楽しかったです。またこのような機会があれば、是非参加したいです。

奥多摩キャンプ参加者

中学二年 柏倉千紘